平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ４３ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題
巨峰、ピオーネの無核栽培における着色向上を中心とした技術対策

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

○背景
・全国的に無核化技術が普及され、種なしの大粒ブドウが販売されています。
・農薬登録の拡大に伴い、種なしブドウ用の品種が増加しています。
・消費者には、「種あり」よりも「種なし」を好む傾向が強くなっています。
・巨峰、ピオーネをジベレリン処理等を行ない無核化を図った場合、収穫時の着色が種あり巨峰のような「黒み」がでません。
・最高価格の出荷基準は、種あり巨峰、ピオーネでカラーチャート８以上としていますが、種なし巨峰やピオーネでは、カラーチャート７が限界であり、最高価格に準じて販売できません。

○内容
・カラーチャート８以上で、一房４００～５００ｇを確実に収穫できることを前提に、着果量と一房当たりの粒数及び施肥量、施肥時期、肥料の種類の研究。
・長梢せん定を改善した有効的なせん定方法の研究。
・着色と果粒肥大に有効な薬剤処理技術（組み合わせ等）の研究

○対象地域
・伊勢原市　ブドウ栽培面積１８ ha　ブドウ生産者６１名

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：生物資源部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名

対応の内容等
当所では、すでに無核・短梢栽培の「安芸クイーン」に環状剥皮を施すことにより、着色の向上効果を認めております。「ピオーネ」については、環状剥皮で着色効果があるという他県での成果もありますので、「巨峰」を含めて、今後新たな情報が入り次第、随時提供して参ります。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考